



目覚めよ、歌えよ、声をあげよ。



主は復活された。喜び祝え。

2020年3月11日、世界保健機構が COVID-19 の世界的感染爆発を宣言しました。このウイルスは重症急性呼吸器症候群を引き起こし、世界では 5 億人以上が感染し、618 万人にも上る死者が出たと報告されています。次々、変異株も現れて、3 年目の今も、収束の目途もありません。

さらに、今年 2022 年 2 月 24 日に、ロシアがウクライナに軍事侵攻を始め、世界中の人々の度肝を抜きました。信じられないロシアの蛮行です。ウクライナは徹底抗戦を唱えています。460 万人の人々が国外避難し、難民となりました。破壊された市街や虐殺された人々の遺体の映像が、毎日報道されています。相互の軍事行動がエスカレートし、核兵器使用の危険も言及されています。世界は地球温暖化による異常気象に苦しみ、さらに核の危機とは！平和憲法を守る「神奈川 9 条の会」の方々と共に、反戦を求めて、夫は 11 日も桜木町駅前に立ちました。



世 (篆書体)

狂気と苦悩に満ちた今の「世」、悲劇、惨劇を止める方法が見出せず、無力感と絶望感が漂う今の「世」は、神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。(ヨハネ 3:16) との御言葉にある「世」なのではないでしょうか。このような愚かしい「世」なのに！とってしまいます。「世」とは古い篆書体の文字を見ると十字架につけられた人々、即ち、裁かれた人々が立つ大地を表しているように感じられます。「世」とはそういう哀れな罪深い人間のいるところを指すのですね。

13日(水)に読んだ受難週の聖書日課のなかに わたしを世にお遣わしになったように、わたしも彼らを世に遣わしました。彼らのために、わたしは自分自身をささげます。彼らも、真理によってささげられた者となるためです。(ヨハネ 17:18-19) との言葉がありました。主イエスが弟子たちと共に、最後の晩餐をし、祈りを捧げた箇所です。神の独り子であり、世の者ではない主イエスが世に遣わされました。



洗足 <渡邊禎雄 1972>

主イエスは弟子たちにご自身を捧げると約束されました。弟子たちも主イエスと結び合うことによって世の者ではなくなりますが、その弟子たちを、主イエスは「世」に遣わすと言われます。なぜなら、「世」は悩み、苦しむ人々がいるところではありますが、そこで命が生まれ、愛しい、助け合って、共に生きるべきところだからです。愚かな私も主イエスによって、足を洗っていただき、主の兄弟姉妹の一人とされたことを感謝し、喜んでいきます。「互いに足を洗い合う」ような道を見つきたいと祈り、願いつつ、イースターをお祝いいたします。

2022.4.17.